温室効果ガス削減目標について SBT 認定取得

千代田電子工業株式会社はこのたび、2030 年に向けた当社の温室効果ガス排出量削減目標が、パリ協定に整合した科学的に根拠ある水準であると認められ、SBT イニシアチブ（※）から認証を取得しましたのでお知らせいたします。

SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

※SBT（Science Based Targets）イニシアチブは、CDP（気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体）、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が 2015 年に共同で設立した国際的イニシアチブで、「産業革命前からの気温上昇を 2°Cを十分に下回る水準に抑え、また 1.5°Cに抑えることを目指す」というパリ協定の目標達成に向けて、企業が設定する温室効果ガス排出量削減目標が、科学的根拠に基づいたものになっているかどうかの検証・認定を行っています。

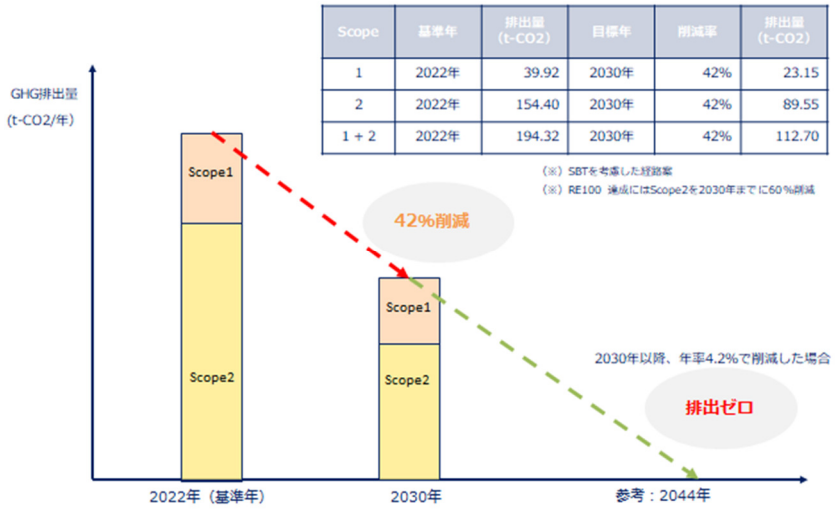
■温室効果ガス排出量削減目標

Scope1 および Scope2（※）	2030 年度までに 2022 年度比で 42％削減

※Scope1：事業者が所有又は管理する排出源から発生する温室効果ガスの直接排出

Scope2：電気、蒸気、熱の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

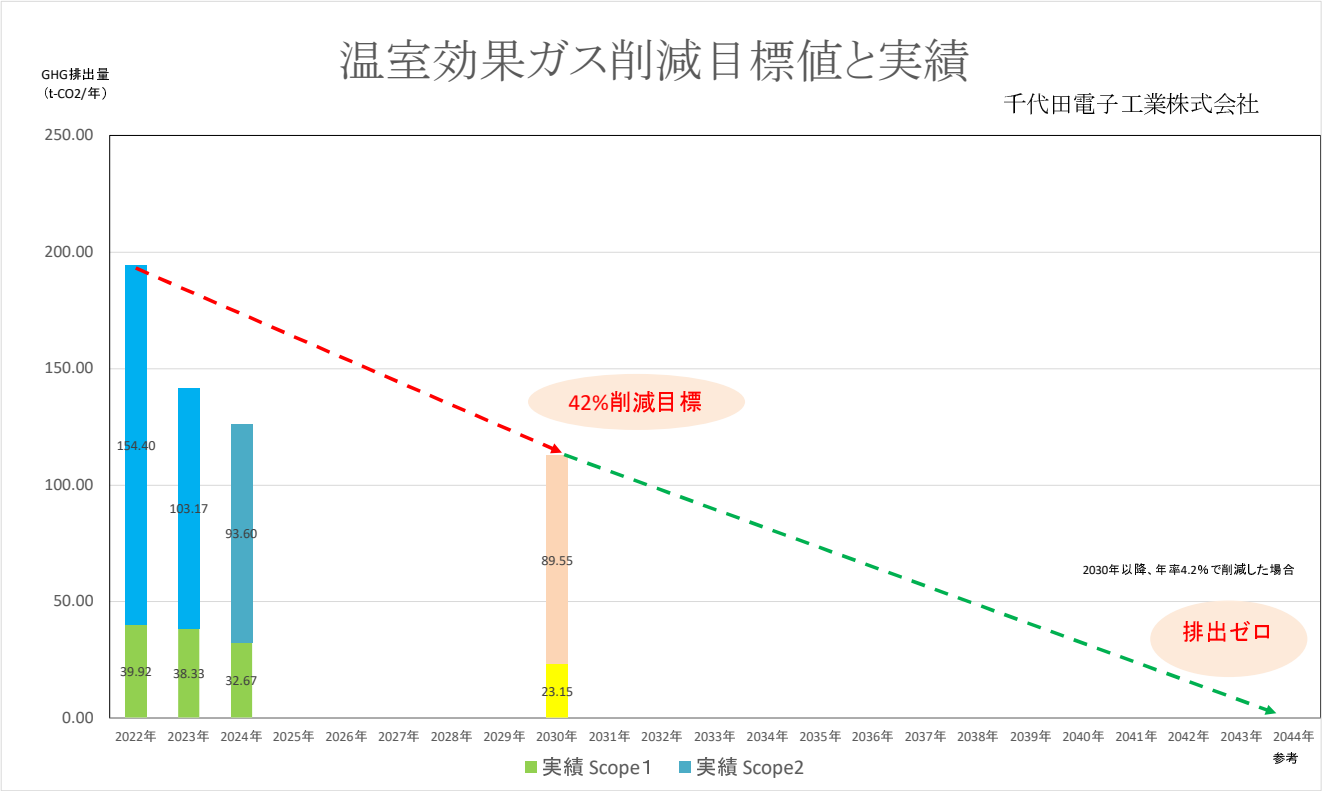
■現状の温室効果ガス排出量および削減目標イメージ

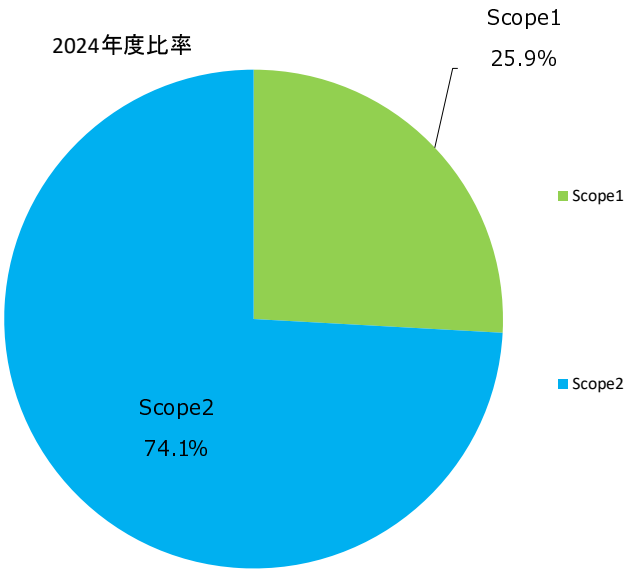


Scope	基準年	排出量 (t-CO2)	目標年	削減率	排出量 (t-CO2)
1	2022年	39.92	2030年	42%	23.15
2	2022年	154.40	2030年	42%	89.55
1＋2	2022年	194.32	2030年	42%	112.70

（※）SBTを考慮した経路案
（※）RE100 達成にはScope2を2030年までに60%削減

当社は、これまで温室効果ガス排出量削減へ向けて、太陽光発電設備の設置、高効率設備の導入等を実施してきました。引き続き、脱炭素の取組みを一層強化することにより、温室効果ガス排出量削減目標の達成およびカーボンニュートラルの実現へ向けて尽力してまいります。





いわむら工場 太陽光設置写真